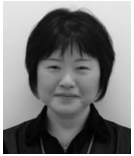


2010年度第1回在中国日本企業トップ・エグゼクティブ・セミナー (2010 China J-Top)



日本アイ・ビー・エム株式会社
エグゼクティブ・プログラム
海外推進グループ・リーダー

林 通代 Michiyo Hayashi

【プロフィール】

1985年、日本IBM入社。2000年からAP Sales Operations Profession LeaderとしてIBM Asia Pacific Service Corporationに出向し、2002年からは、AP Marketing Internal Event Managerとして、アジア・パシフィック地域全体で初めて統合開催した社員リコグニション・イベントの企画・実施をリード。2004年より日本IBMに戻り、現職。

■ 中国IBMと日本IBMが連携して開催

日本アイ・ビー・エム株式会社（以下、日本IBM）では、1984年より「在米・在欧日本企業トップ・エグゼクティブ・セミナー（以下、J-Topセミナー）」を開催しています。これは現地でビジネスを推進されている日本企業エグゼクティブの皆様、IBMのみならず、経営や情報技術に関する最新情報をお届けするもので、多くのお客様からご好評をいただいています。このJ-Topセミナーを、11月1日（月）から2日（火）にかけて、初めて中国北京（主会場：シャングリ・ラ ホテル 北京）で開催しました。

今年、中国で初開催となった当セミナーは、IBMならではのグローバルの強みを生かし、企画から実施までを中国IBMと日本IBMとの連携により実現。中国IBM Chairman & CEO、D. C. Chienと日本IBM代表取締役社長 橋本孝之が共同ホストを務めました。当日は、北京、上海をはじめとした中国の主要都市から金融、製造、通信、製薬、流通のほか、さまざまな業種のお客様エグゼクティブ総勢30名がお集まりくださいました。



セミナーの内容としては、近年中国が目覚ましい経済成長を遂げ、グローバル経済における存在が急速に高まってきた状況、あるいはITと通信の飛躍的な進化によって、企業経営や社会のさまざまな分野で新たな変化や変革が可能になってきている状況を踏まえ、企業がいかにかこうした変化を受け止め、戦略的に活用し、企業価値向上につなげていくかについて検証しました。IBM自身の企業変革、Global CEO Study 2010からの考察、コーポレート・ビジョン「Smarter Planet（地球をより賢く、よりスマートに）」による価値創造、さらに中国におけるIBMの研究開発の中核にある「IBM China Business Innovation Center」へのツアーも実施し、研究開発の取り組みなどをご紹介させていただきました。ゲスト・スピーカーには、アサヒビール株式会社様の山崎史雄常務執行役員中国総代表をお招きし、アサヒビール様の中国における事業戦略についてもご講演いただきました。

■ さまざまな講演を通じて多彩な知見を紹介

2日間にわたるセミナー初日のハイライトは、橋本による「IBMの変革とSmarter Planet」と題した講演です。「『変わり続けること』がIBMのDNAであり、自らが変革し、その経験を基にお客様の変革をご支援していく終わりのなき旅（Never-ending Journey）としてとらえています。ハードウェアからソフトウェア、サービスへとシフトしてきたIBMの変革ですが、今後は、より高付加価値なサービスを創出し、他社との差別化を目指していきます。具体的にはSmarter Planetにて、Smarter Cities（都市化の進展と課題、それに対する具体的な取り組み）、Smarter Enterprise（企業のGlobal化支援を軸にした取り組み）、そしてこれらを可能にするクラウド・コンピューティング、BAO（Business Analytics & Optimization）などのCapabilityという3つの分野にて価値創造を実現していきます」と強調しました。

セミナー2日目は、トップバッターとして、橋本と並んでもう一人のセミナー共同ホストであるD. C. Chienが「IBM in China（中国におけるIBMの展望）」について講演しました。

「1980年に1人当たり約300ドルだった中国のGDPは、2010年には3,090ドルほど、2020年には8,200ドルほどに達する見込みで、今後も中国の成長は続く見通しです。2010年10月の中国共産党大会で骨子が決定さ

れた経済社会発展の新5カ年計画(2011～2015年)も、中国の変革の加速を後押しするもので、この変革により、中国では大規模な都市化が進み、それに伴うビジネス・チャンスも拡大するでしょう。一方、中国 IBM も中国の成長とともに発展してきています。現在は、中国の300以上の都市に29事業所を展開し、急成長する中国市場で30年以上にわたる成功と業界専門知識を有し、中国ではトップIT企業として認知されています。また、グローバル機能を統合してローカル市場にサービスを提供しています。中国 IBM は一丸となって、在中国日本企業の皆さまの中国での成功を支援させていただきます」と結びました。

続いて、「全世界のCEOへのアンケートを基に、避けては通れないグローバル化の潮流として、IBMは、『高業績企業が注力する3つの領域』に着目します」とした日本IBM執行役員 金巻龍一による講演「CEO Study 2010 - 複雑さをいかに武器とするか」も参加者の皆さまの関心を強く引きました。金巻は講演の中で「3つの領域とは、リーダーシップ、オペレーション、カスタマー・リレーションシップです。特にリーダーに求められる最も重要な資質は、『創造性』であり、市場の一步先を行くために組織を変革し、さまざまなコミュニケーション・スタイルおよびツールを活用する、また現状のインダストリー・モデル、企業連携モデル、収益モデルを破壊するというような『組織に創造性を発揮させるリーダーシップ』が重要」と説きました。

一方、初日に行われたIBM China Business Innovation Centerでのテクノロジー・デモで、3Dバーチャリゼーション・テクノロジーの「Virtual Forbidden City」が、参加された方々の注目を集めました。これは、IBMと中国の故宮博物院が、3年の月日をかけて北京にある旧王宮、紫禁城を、仮想世界として再現したもので、ユーザーはアバターを使い、紫禁城内のさまざまな建物を探索したり、行事に参加したり、当時流行していたスポーツやゲームを楽しんだり、

ほかのユーザーとコミュニケーションを取ったりすることができるというものです。また主要な歴史的事件に関連するツアーに参加することも可能です。このプロジェクトにはIBM WebSphere® Application Server、Tivoli、IBM BladeCenter®などが使われており、このバーチャル紫禁城はSOA(サービス指向アーキテクチャー)とLinux®などのオープンソースを利用した初の仮想世界でもあります。

2日間のセミナーを終え、参加されたお客様からは、「IBMの中国戦略、グローバル戦略が良く理解できた」「新しい観点で経営を考えることができた」「これからの中国事業を考えるに当たってのヒントを得ることができた」「グローバルに統合された企業への第一歩を進めるためのアイデアが多くあった」「日ごろ、自分が、考えていたこと、疑問に思っていたことなどに対し、多くのヒントを得られた」など、たくさんコメントをいただきました。さらには「出席者との情報交換も有意義だった」「参加企業のトップとの交流が十分取れた」「今後も定期的にセミナーを開催してほしい」などの好意的なコメントも頂戴しています。今回のセミナーは、これまでIBMおよび中国IBMにあまりなじみのなかったお客様にも、IBMをご理解いただく大変良い機会となりました。さらには、ビジネス・セッション以外でも、昼食会、夕食会、その後の懇親会を通じて、ご参加者同士の異業種交流も十分に図っていただけたことと思います。

今後も、米国、欧州、中国それぞれでビジネスを推進されている日本企業エグゼクティブの皆さまに、企業の成長に向けたイノベーション実現のための戦略策定のご参考としていただくとともに、異業種にわたるお客様同士が自由に意見を交換いただくための懇親の「場」としてご活用いただけるよう、当J-Topセミナーを、一層の内容の充実を図りながら継続して開催させていただく所存です。

2010年11月1日(月)	
オープニング	日本IBM代表取締役社長 橋本 孝之
IBMの変革とSmarter Planet (Globally Integrated Enterprise)	日本IBM代表取締役社長 橋本 孝之
IBM中国における研究開発のご紹介	Matt Wang, PhD. Vice President, China Development Labs & AP North Cluster Labs, IBM Greater China Group 日本IBM執行役員 ソフトウェア開発研究所長 杉谷 喜範
テクノロジー・デモ	
2010年11月2日(火)	
IBM in China (中国におけるIBMの展望)	D. C. Chien Chairman & CEO, IBM Greater China Group
複雑さをいかに武器とするか ～Global CEO Studyからの洞察	日本IBM執行役員グローバルビジネスサービス 戦略コンサルティンググループ 金巻 龍一
ゲスト・スピーチ アサヒビール中国事業戦略	アサヒビール株式会社 常務執行役員 中国代表部総代表 山崎 史雄 様
クローージング	日本IBM代表取締役社長 橋本 孝之 D. C. Chien Chairman & CEO, IBM Greater China Group

2010 China J-Topプログラム